

青梅市教育委員会における物価高騰による学校給食の対応について

昨今、コロナ禍等による原油高や食用油の価格の高騰に加え、各種野菜や肉、また、調味料などの食材全般について値上がりが続いております。

青梅市立学校給食センターでは、これまで、価格を見ながら食材を変えたり、部位や種類を変更するなど、献立の工夫により対応しております。

しかしながら、長期的に見ると、現在の保護者に御負担いただいている学校給食費の収入の中だけでは、安定的に栄養バランスの取れた給食を維持していくことが困難であると判断し、令和4年度においては、食料品の消費者物価指数なども考慮し、市が学校給食費に資金を投入し支援することといたしました。

つきましては、青梅市が学校給食材料費全体の約4%分の支援を行い、保護者の皆様には新たな負担を求めないこととしましたのでお知らせいたします。

なお、青梅市からの支援となる4%分の増額は、児童・生徒1人あたりに換算すると、平均して1食10円程度となります。

<参考数値>

令和4年度当初予算額	467,307千円
市からの支援額	18,698千円
今後の予算額	486,005千円

(児童・生徒一人当たりへの支援額)

小学校第1学年・第2学年(低学年)	1食 230円 × 4% = 9.2円
小学校第3学年・第4学年(中学年)	1食 245円 × 4% = 9.8円
小学校第5学年・第6学年(高学年)	1食 260円 × 4% = 10.4円
中学校(全学年)	1食 300円 × 4% = 12円